

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現 値 単 位 の 数	本 年 度 目 標 値 の	本 年 度 実 績 値 の
	学校と地域の関	青少年の健全	コロナ禍により、放課後子ども教室への地域住民の参加が減少していたが、令和6年度において、同程度レベルまで回復してきているものの目標よりは少ない現状である。（R1:10,980→R3:1,552人→R6:10,772人） 子どもたちが社会性や規範意識などを身に付ける機会が減少していること等が、学校と地域の共通の課題であり、当該教室への参加者をさらに増やしていくことが必然である。	地域住民や保護者に、子どもたちの活動や放課後子ども教室で行う事業について理解を深めてもらうため、広報誌の作成等を継続して行う。 また、児童会館の利用者アンケートの結果等から地域住民や保護者などのニーズを抽出し、それらに応じた事業内容を実施することで、地域ボランティア等の協力者が増加するよう努める。	保護者の関心や参加動機を高めることを目的とし、子どもが運営スタッフを担う取り組みや子どもが企画から携わる事業等を実施したことで、参加者の増加や子どもや保護者の意識の醸成等に寄与できたものと考えている。 さらに、地域の大学や専門学校と連携し学生ボランティアが活躍する機会の創出も併せて行っていく。	放課後子ども教室の地域参加を促進することで、地域の子育て力や教育力が高まり、児童が心豊かで健やかに育まれる環境が整う。 また、子育てや教育に理解のある地域住民が増加することで、結果的に生徒指導・学習指導に関しての教員負担の軽減につながる。	ボランティアや保護者の参加者の数	10772 人	11000	10068